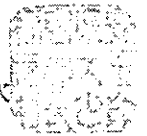


20建 第265号
平成20年10月16日

国土交通省道路局長 様

大玉村長 浅 和 定 次



今後の道路行政についての意見・提案について

平成20年9月19日付、国道企第37号にて依頼ありました標記の件につきまして、別紙のとおり提出いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

福島県安達郡大玉村

- ・ 道路は、社会資本の最も基本であり、地域間の交流、産業の振興から医療、防災など幅広い分野にわたって国民の暮らしを守る動脈、生命線である。整備の遅れは、地域間格差を拡大し、均衡ある国土形成を阻害するものである。

地方の道路は、未だ未整備区間も多く、通行不能区間がある県道も存在している現状を認識され、道路特定財源をも含めた、地方道路整備のための予算の安定確保を望むものです。

また、道路行政の推進にあっては、計画や予算の段階での都市対地方での交通量や人口の差といった経済的側面のみでの判断ではなく、総体的な視野で重点選別のうえ、整備予算の大幅な増額を強く求めるものである。

②－１ 地域の現状と抱える課題

福島県安達郡大玉村

○現状

- ・ 本村は、地域をつなぎ、暮らしを支える交通網として、南北の軸である東北自動車道・国道４号、東西の軸である主要地方道本宮・土湯温泉線を基幹に、一般県道や村道、農道により構成される道路網、本宮・杉田を最寄駅とする JR 東北本線や広域生活バスなどに構成される地域公共交通からなる。また、東北自動車道と磐越自動車道の交差する郡山に近く、広域的にも交通の要衝に位置しているが、道路は、狭い上に屈曲が甚だしく大型車両、緊急車両の通行が困難な箇所が多く、高速道路を横断する県道及び幹線村道についても、歩道も無く学童等の通学も危険な状況である。又、高齢者の電動カーの普及や、福祉施設の建設、社会参加機会の増大等による交通事故等も懸念される現状である。

(第３次大玉村総合振興計画後期基本計画)

○課題

- ・ 国道４号（南北軸）の拡幅や、安達太良ドリームライン（東西軸）の整備に伴い、これら広域道路への円滑なアクセスと、安全で快適な道路環境の整備が急務となっている。また、拡幅改良により歩道を整備し、学童等の通学の安全性を確保すると共に、電動カーや高齢者等に優しい環境の整備を図る事が課題です。

- ・ 広域道路の整備との整合を図りつつ、広域生活圏を円滑に結ぶ幹線道路及び地域内交通の利便性を高める生活道路の整備を進め、歩行者・車双方の安全に配慮すると共に、防火・防災機能や交流の場としての機能など、多目的な機能を持つ道路整備に努め、安全で快適な道路環境づくりを目指す。

(第3次総合振興計画後期基本計画 施策目標)

③ 道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

福島県安達郡大玉村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価	○その他
総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	地方道路交付金事業（交安）	歩道整備により児童生徒の通学時の交通安全が図られると共に、車両のスムーズな運行が図られる。	